

弟

實名くはしからずとし
わかかくして入めつか、

さばしがき

見さまいやし、心あしきゆへふしづげにし、又は水火
のせめを得、後こゝろあぢよし、十月十夜に、世人も
ちゆるなり、十夜の後よなまきみえす、

筆がき

心あし、下さまの人もてはやす、

さいしん

生つき心れしぶとし、
世の人もちひず、

はちや

あに、まさり世人
もてはやす、心よし、

ころがき

宇治三室邊に住

さるがき

なりふり尤よし、見所ある體なれ共、おち生干入道、
わかき折ふしに能似て、人にくちあかさね生つき也、

くしがき

柿栽培

〔草木六部耕種法十九〕柿モ亦能ク作ルトキハ、甚上品ナル果物ニテ、柑類ニ劣ラザル産物ナリ、且

其種類モ、紅柿ゴシヨカキ、方柿ハチヤサ、酥柿ホシシ、青棗カキア、君選子アノカキ等有リ、此ヲ作ル植地ハ、西北高ク東南低クテ、打濶タル肥沃

ノ地ニ宜シ、又山下赤墳ハ殊ニ宜ク、海邊沙地等ニハ宜シカラズ、柿ヲ作法ハ、唯其砧木ヲ生長

セシメ、此ヲ伐テ美果ヲ結、良木ノ枝ヲ接換ツギキスル者ナルガ故ニ、青棗ニテモ大ニシテ能ク熟シタ

ル、柿核ヲ多ク集メ、此ヲ肥良ナル濕地ニ、冬中ヨリ埋テ、上ニ藁菰ヲ覆テ、時々シロミツ澆水ヲ澆置トキハ、

正二月ノ頃、頗芽ヲ出ス者ナリ、此ヲ肥良ノ植地ニ、橘子ミカンノ苗ヲ植ル如ク、一段ノ畑ニ二百處許モ

穴ヲ掘リ、能ク芽ヲ出シタル種子ヲ、一箇コズ、臘土ロウド者ナリ、製法上ニモ出セリ、若此物ノ無キトキ

ハ、人糞クボセト、黒爐クボクトナ能ク、ト共ニ穴中ニ安置シ、土ヲ六七分モ被テ少シ壓付テ置キ、其莖出テ後晴